

平成28年（2016）9月 入域観光客数概況

9月の観光客数は、79万3,000人
対前年（H27）同月比 +6万8,300人、+9.4%
～9月の過去最高を更新、外国客は5ヶ月連続で20万人台を記録～

入域状況

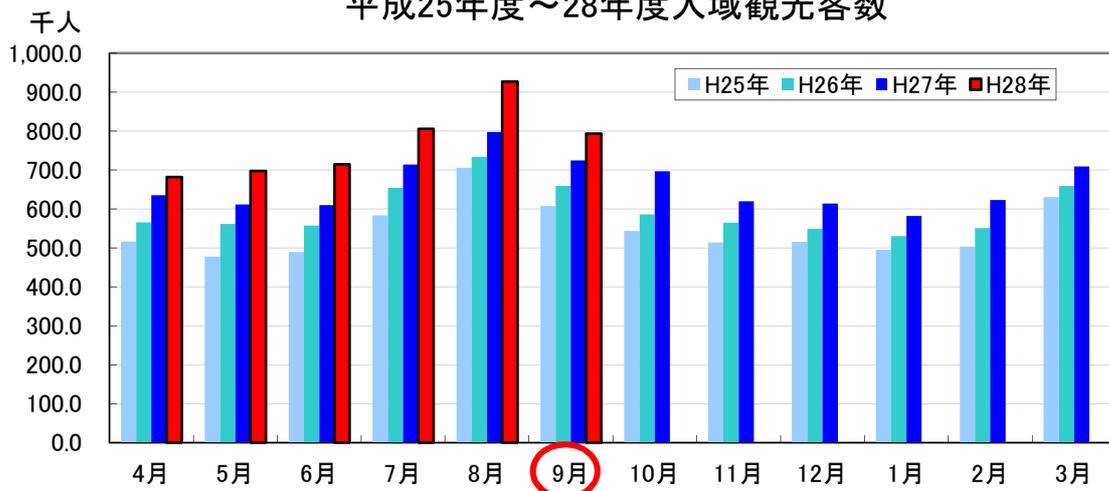
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	589,600 人	575,100 人	+ 14,500人	+ 2.5%	74.4%
外国客	203,400 人	149,600 人	+ 53,800人	+ 36.0%	25.6%
合計	793,000 人	724,700 人	+ 68,300人	+ 9.4%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	589,600 人	575,100 人	+ 14,500人	+ 2.5%	77.0%
外国客	175,900 人	132,800 人	+ 43,100人	+ 32.5%	23.0%
合計	765,500 人	707,900 人	+ 57,600人	+ 8.1%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

9月は、引き続き、羽田・伊丹・名古屋－那覇路線の増便等による航空路線の拡充があったことや、各旅行商品等の販売状況も良好だったこと等から、前年を上回った。

10月は、各旅行社における旅行商品の予約状況が良好なことや、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

9月は、中秋節の連休による旅行需要に加え、台湾及び韓国を中心に前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや、引き続き、クルーズ船の寄港回数が増加したことにより、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

10月は、国慶節の連休による旅行需要に加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数の増加が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	298,000 人	289,000 人	+ 9,000人	+ 3.1%	50.5%
関西方面	122,000 人	126,000 人	△ 4,000人	△ 3.2%	20.7%
福岡方面	71,100 人	71,400 人	△ 300人	△ 0.4%	12.1%
名古屋	46,100 人	40,700 人	+ 5,400人	+ 13.3%	7.8%
その他	52,400 人	48,000 人	+ 4,400人	+ 9.2%	8.9%
合計	589,600 人	575,100 人	+ 14,500人	+ 2.5%	100.0%

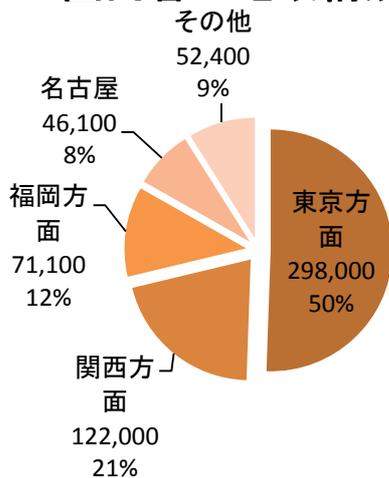
※国内海路客3,200人を含む(鹿児島2,100人、神戸400人、その他700人)

外国客 国籍別入域状況

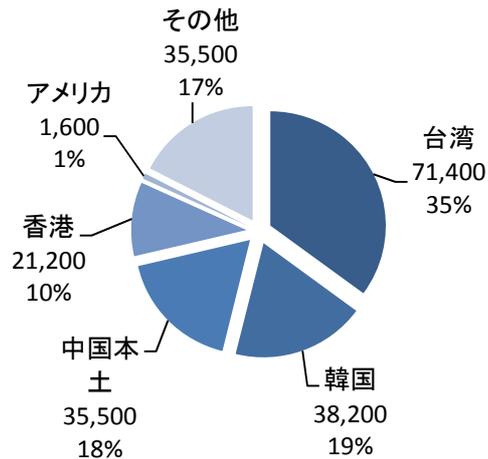
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	71,400 人	71,400 人	51,200 人	+ 20,200人	+39.5%	35.1%
韓国	38,200 人	38,200 人	23,700 人	+ 14,500人	+61.2%	18.8%
中国本土	35,500 人	35,500 人	33,600 人	+ 1,900人	+5.7%	17.5%
香港	21,200 人	21,200 人	18,800 人	+ 2,400人	+12.8%	10.4%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	1,100 人	+ 500人	+45.5%	0.8%
その他	35,500 人	8,000 人	21,200 人	+ 14,300人	+67.5%	17.5%
合計	203,400 人	175,900 人	149,600 人	+ 53,800人	+36.0%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	46,400 人	46,400 人	+20.5%	36.4%	25,000 人	25,000 人	+96.9%	32.9%
韓国	37,800 人	37,800 人	+59.5%	29.7%	400 人	400 人	皆増	0.5%
中国本土	21,100 人	21,100 人	△5.8%	16.6%	14,400 人	14,400 人	+28.6%	18.9%
香港	16,400 人	16,400 人	+10.1%	12.9%	4,800 人	4,800 人	+23.1%	6.3%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	+30.0%	1.0%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
その他	4,400 人	4,400 人	+15.8%	3.5%	31,100 人	3,600 人	+78.7%	40.9%
合計	127,400 人	127,400 人	+22.1%	100.0%	76,000 人	48,500 人	+67.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

9月は、深夜便等に伴う提供座席数の増加や、羽田－那覇及び宮古の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
10月は、各旅行社における旅行商品の予約状況が良好なことや、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

9月は、引き続き、伊丹－那覇路線は好調だったものの、関西及び神戸－那覇路線の提供座席数の減少があったこと等から、前年を下回った。
10月は、各旅行会社における旅行商品の予約状況が良好なことや、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

9月は、各航空会社による個人旅行商品の販売状況は良好だったものの、台風の影響に伴う一部キャンセル等があったことから、前年をやや下回った。
10月は、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあることや、修学旅行のシーズンに入ること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

9月は、各航空会社による航空路線の拡充に伴い、各旅行商品等の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。
10月は、各旅行会社における団体旅行の販売状況が良好なことや、名古屋(小牧)－宮古への直行チャーター便が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

台湾

9月は台風による影響が懸念されたものの、バニラ・エアの台北－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、定期クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
10月は、V Airの運休影響が懸念されるものの、国慶節による旅行需要や、引き続き、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。

韓国

9月は、台風の影響でソウル－宮古間の直行チャーター便1本がキャンセルとなったものの、各航空会社及び旅行社による販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。
10月は個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、済州－那覇間の直行チャーター便が予定されていること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

9月は、中秋節の連休による旅行需要があったものの、他方面との競合や、天津航空や北京首都航空の瀋陽チャーターの運休による影響があったこと等から、前年をやや下回った。
10月は、引き続き、他方面との競合が懸念されるものの、国慶節による旅行需要に伴った旅行商品の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

9月は、中秋節の連休による旅行需要や、離島中心とした旅行商品の販売状況が良好だったこと、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港があったこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。
10月は、国慶節による旅行需要に伴った旅行商品の予約状況が良好なこと、上海、広州及び舟山発クルーズ船の寄港予定があること等から、順調に増加する見込み。

香港

9月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
10月は、一部旅行会社による離島商品造成等の取り組みや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。